

## 特別展「古代メキシコ –マヤ、アステカ、テオティワカン」

日時：2024 年 3 月 15 日 10:00～14:00

場所：国立国際美術館

参加者：菊池、長谷川、高城、梶木、小林

行程：10:05～12:00 古代メキシコ展見学

メキシコには 35 もの世界遺産があり、中でも

高い人気を誇るのが、古代都市の遺跡群です。前



15 世紀から後 6 世紀のスペイン侵攻までの 3 千年以上にわたり、多様な環境に適応しながら、独

自の文明が花咲きました。この展示では「マヤ」「アステカ」「テオティワカン」

の代表的な 3 つの文明に焦点をあてています。

前 1200 年頃から広範な地域に栄え、暦や文字などの高度な知識を有する王や

貴族が中心となって、交易と戦争を繰り返したマヤ文明。1325 年に首都テノ



チトランを築き、軍事力と貢納制度を背景に反映を謳歌したアステカ文明。全 1 世紀から後 6 世



紀までメキシコ中央高原に栄え、「太陽のピラミッド」「月のピラミッド」

「羽毛の蛇ピラミッド」を擁する巨大な計画都市を築いたテオティワカン文明」

火山も噴火や地震、干ばつなど厳しい自然環境の中、人々は神を信仰し

時には畏怖しながら、王と王妃の墓、大神殿、三大ピラミッド等各文明を代表する壮大なモニュメントを築きました。

